

# しまいろ

SHIMAIRO

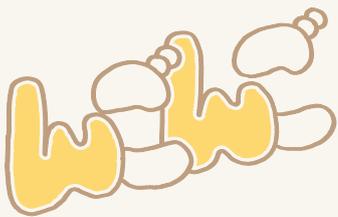
No. **4**  
2021 spring

小豆島の  
高校生たちがつくる  
小豆島のための  
フリーペーパー

C A F E



C A F E



D I A L E C T



C R E A T O R

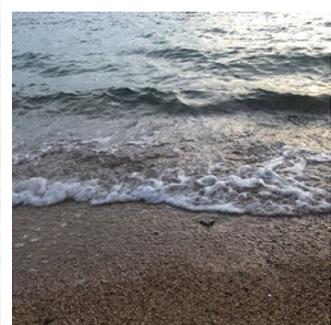
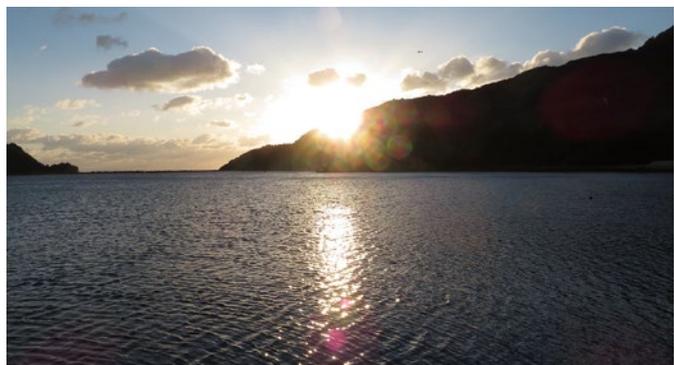


C R E A T O R

Photograph



# 島・空・景



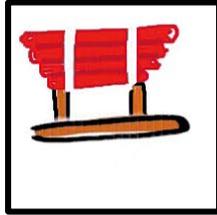
# 小豆島の方言

～地域に昔から伝わる言葉に触れてみました～



自転車を押す

↓  
つく



太鼓をかつぐ

↓  
かく



壊れる

↓  
めげる



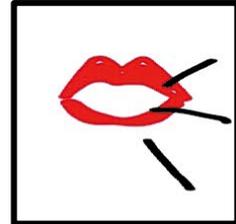
いくら

↓  
なんぼ



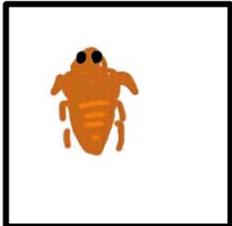
私の家

↓  
うちんく



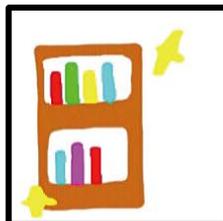
叫ぶ

↓  
おらぶ



せみのぬけがら

↓  
モックリコ



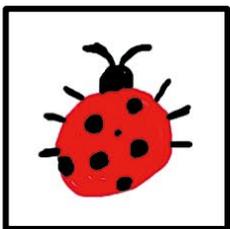
片付ける

↓  
しのべる



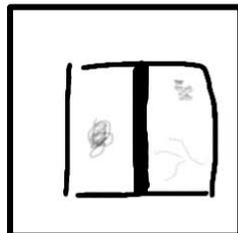
誰も～ない

↓  
誰っちゃ



小さい

↓  
こんまい



汚い

↓  
やっちゃんない

度々→さいさい  
なにもない→何ちゃんない  
～ばっかり→～ば

はねみずほ もりぐちれいあ  
[取材] 羽根瑞穂・森口怜愛



breaktime or



# # やっぱり小豆島の カフェが好き。

小豆島には地元の人に愛され、ほっこりするあたたかいカフェがたくさんあります。それぞれのお店にこだわりがありました。みなさん足を運んでみてはいかがでしょうか？

## Moksha Coffee Stand

モクシャ コーヒー スタンド

小豆島の自然とカフェを一緒に楽しめるお店です。

「2人で店を開きたい」「環境が良く自然を楽しめるところで店を開きたい」「季節を感じてもらいたい」という思いで2018年7月21日にopenされました！

人気メニューはサンドイッチで、手作りのパンに島の野菜が使われています 😊

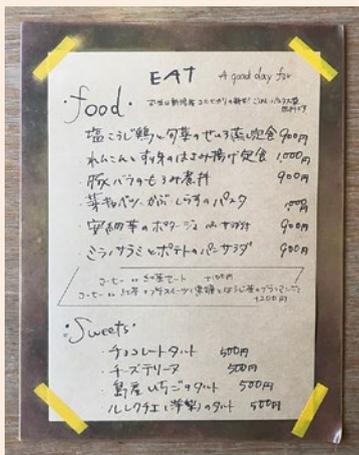
Moksha Coffee Standさんのオススメはレモンケーキ 🍋

レモンの風味が良くすごく美味しいです！また訪れた時には食べてみてください！



- 📍 @moksha\_coffeestand
- 📍 小豆島町坂手甲1447-1
- 🕒 11:00 - 17:00
- 🗓️ 火～金曜日休(冬季変更あり)

商品は全てテイクアウトOK!



Menu



## EAT

イート

広々とした店内で明るくゆったりとした雰囲気のお店です。

旦那さんは茨城県、奥さんは新潟県出身で12年前に小豆島に移住し、元々飲食関係の仕事に就いていたこともあり「目の前で子どもたちの成長を見たい」という思いから店を開きました！

ご飯は旦那さん、デザートは奥さんが担当しています。気持ちのこもった美味しいご飯やデザートを食べしてみてください！



- 📍 小豆島町苗羽甲1422-1
- 🕒 11:30 - 17:00 (L.O.16:00)
- 🗓️ 毎週木曜日休
- ☎️ 0879-82-6170

おおにしかれん いしいすみれ たけいまゆか くろきほのか しまもとまほ あけだなほ  
[取材・文・写真] 大西花怜・石井純鈴・武井茉友華 / 黒木穂乃香・島本真帆・明田奈穂

## La mauve

カフェ ラ・モーヴ

オリーブ公園の近くにあるカフェです。

島でとれる旬の野菜を使ったプレートランチや旬の果物を使ったタルトなどがあります。特に、12月後半から登場する小豆島の女峰を使ったいちごタルトが人気です。

全て手作りで添加物を使用しておらず体にやさしい料理ばかりです。



@olive.konohana  
小豆島町西村甲1843-2  
11:00-16:00  
火・水曜日休  
0879-82-5991



## はちはち珈琲

ハチハチコーヒー

小豆島中央病院の近くにあるはちの看板が目印のカフェです。

コーヒー豆の種類がたくさんあり、本格的なコーヒーを楽しむことができます。特に、お店のオリジナルのはちはちブレンドが人気だそうです。ケーキやトーストなどのメニューもあります。全て自家製でケーキは定番のチーズケーキ、旬の食材を使った期間限定のものもあります。



@88\_\_coffee  
小豆島町池田2133-1  
10:00-17:00  
火曜日休  
0879-75-0037

しまいろ

## CONCEPT

社会に出た時に  
役に立つ力を  
身につける場

自ら考え、他人を巻き込みながら行動し、形にする場として、小豆島を離れる前に、島の良さや働く人たちの仕事をよく知り、進学または就職後にUターンを考えるきっかけになってほしいと考えています。



## 活動報告

しまのみらい  
プロジェクト



Activity Report

しまみら4年目となる今期は、総勢21名の生徒達でスタートしました。しまいろNo.4制作チームに加え、Creatorチームが新たに発足！しまみらのYouTubeチャンネルとInstagramを開設し、動画やマンガのコンテンツを配信しています。自分達で企画し、取材・構成案の作成・確認・撮影など、ゼロからつくる大変さや仲間とつくる楽しさ、つくり上げた時の達成感は今後に必ず活かされると思います。コロナ禍となり活動が制限された今期ではありましたが、メンバーのみなさん、お疲れ様でした！

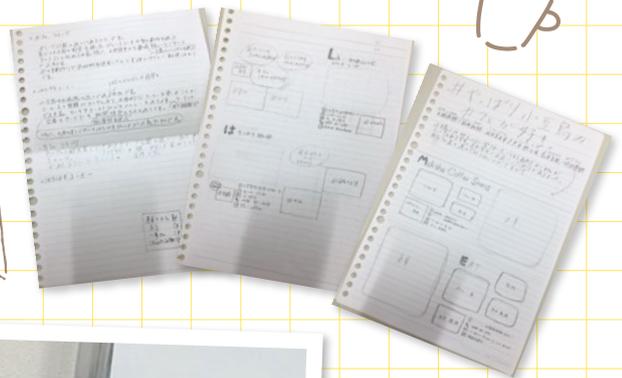
## STAFF

城石 果純(株式会社DaRETO) / 大塚 一歩(NPO法人トティエ) / 川西 剛(社会福祉法人サンシャイン会)  
根本 咲愛野(しまのみらいプロジェクトOG) / 島 啓(マルシマ印刷株式会社)

## しまいろ編集部

私たちはグループに分かれて小豆島の素晴らしい風景・場所を撮影したり、小豆島で使われている方言を調べたりしました。良いものを作るためにみんなで集まり打ち合わせをして楽しみながら、小豆島の魅力をたくさん発見しました。

カフェページの原稿



方言のページ  
作成中



しまいろ編集部で〜す

会議の様子



方言ページの原稿



# クリエイターチーム Creator Team

クリエイターチームは、主にSNSでの情報発信を中心に活動をしました。自分たちが感じることで、この世代ならではの視点を、どう表現していくかにあたっては試行錯誤もありましたが、いろんなチャレンジができて楽しい活動になりました！

## 01 YouTube班



YouTube



### 学食全種類食べてみた！

小豆島中央高校のより具体的な内容を伝えるために、毎日の昼ごはんでお世話になっている学食の紹介を兼ねて「全種類食べてみた!」をアップしました。

福祉系YouTuberふくしGOもやっています。しまみらちゃんねるがみんなに親しまれるチャンネルになるように全力でサポートしていきます。



Supporter  
川西 剛  
YouTube担当

しまみら  
ちゃんねる  
OPEN!!



高校での生活だけではなく、私たちが普段感じている島の良さや魅力を伝えたい!と思って制作をしています。まだ本数が少ないですが、想いを後輩に受け継いで、もっと動画を増やしたいと思っています!

しまみらちゃんねる



### 制服紹介

某歌番組を参考にし、夏服・冬服・体操服をそれぞれ着て、Runwayを歩くかのように紹介しました。

FOLLOW ME!

## Instagram 02 マンガ班



島あるある



### Instagram更新してます!

クリエイターチームでは、専用のアカウント取得から運用まで学生自身が行っています。テストや部活などで頻繁に更新できない時期もありますが、少しでも島高ライフや島の暮らしが伝われば嬉しいです!

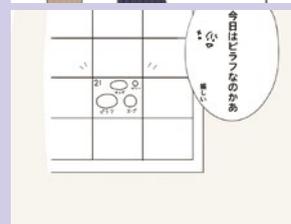


しまいろ

### 双子コーデ



### 給食の思い出



担当事業

|                       |                       |   |
|-----------------------|-----------------------|---|
| 動画                    | 3年1組<br><b>鎌野 明寿香</b> | 私は、今回初めて参加してみて自分も小豆島の知らないことを知れたことやSNSで小豆島のことを発信できてよかったです。     |
| 企画<br>動画<br>海ごみ       | 3年4組<br><b>芳地 風</b>   | 私はSNSを通して自分達で小豆島を発信し、全国の人が見てくれた事がとても嬉しく、私は小豆島が大好きなんだと気づきました。  |
| 企画<br>動画<br>海ごみ       | 3年4組<br><b>森口 朋香</b>  | 小豆島のことを伝える方法はたくさんあることを改めて実感し、より多くの人に小豆島の魅力が伝わればいいなと思いました。     |
| マンガ                   | 2年3組<br><b>武谷 ことは</b> | 自分の得意とする分野で参加できたことがうれしかったです。マンガのネタとして地域を見直すことは新鮮で楽しく活動できています。 |
| 風景<br>カフェ             | 2年4組<br><b>明田 奈穂</b>  | このプロジェクトを通して、たくさん的小豆島の方と交流ができて楽しかったです。小豆島の良いところをいっぱい発見できました!! |
| 風景<br>カフェ             | 2年4組<br><b>大西 花怜</b>  | 小豆島には観光スポット以外にも空が素敵だと改めて思いました。悩んだこと難しかったこと全てがとても良い経験になりました。   |
| 風景<br>カフェ             | 2年4組<br><b>島本 真帆</b>  | カフェの取材では、電話やインタビューなどあまり経験のないことで戸惑いましたが、今までにない経験になり楽しかったです。    |
| 企画<br>動画<br>SNS       | 2年4組<br><b>多田 朱里</b>  | 小豆島や高校の魅力が伝わるように企画や動画編集をしました!これからもたくさんの方に魅力を伝えていきたいです。        |
| 風景<br>企画<br>動画<br>SNS | 1年4組<br><b>兒島 菜々子</b> | 初めての経験ばかりで大変だったけど参加して損はない!しまみらだからできることがあって、めっちゃ楽しい!メンバー募集中!!  |
| 方言                    | 1年5組<br><b>森口 怜愛</b>  | 私たちが当たり前に使っている言葉の中で、この言葉が方言なんだと初めて気付くものがたくさんあり、調べていて楽しかったです。  |

担当事業

|                 |                       |   |
|-----------------|-----------------------|---|
| 企画<br>動画<br>SNS | 3年1組<br><b>藤本 瀬里奈</b> | 今年から始まったWeb班で私は小豆島の魅力をSNSを使って発信し、好奇心旺盛の私にとって、この活動はピッタリの活動でした。 |
| 企画<br>動画<br>海ごみ | 3年4組<br><b>三好 ヒカル</b> | SNS班として活動する中で、小豆島が多くの人から注目されていると感じ嬉しくなりました。楽しみながら活動できて良かったです。 |
| マンガ             | 2年3組<br><b>高崎 輝海</b>  | マンガで人に伝えたいことを伝えるのはとても難しかったです。描き進めていく中で小豆島の良さを再認識することができました。   |
| マンガ             | 2年3組<br><b>藤本 亜藍</b>  | 私は小豆島あるある漫画を描きました。んごんご論争やよく服が被るなど出ていてとても楽しかったです。来年も参加したいです。   |
| 風景<br>カフェ       | 2年4組<br><b>石井 純鈴</b>  | カフェに行く前に電話で確認をとったり、実際にカフェで取材したり写真を撮ったりしてとても貴重な体験ができて良かったです。   |
| 風景<br>カフェ       | 2年4組<br><b>黒木 穂乃香</b> | しまのみらいプロジェクトを通して、自分が知らなかった小豆島の魅力をたくさん見つけることができとてもいい経験になりました。  |
| 風景<br>カフェ       | 2年4組<br><b>武井 茉友華</b> | カフェの取材は緊張したけど、いい経験になったし、とても楽しい時間でした。どのお店も美味しくて最高でした!!         |
| マンガ             | 2年4組<br><b>長木 伊織</b>  | このプロジェクトを通して、日常ではあまり考える機会のない島の特色について考え、良さを知ることができ、いい経験になりました。 |
| 方言              | 1年5組<br><b>羽根 瑞穂</b>  | 今回参加し方言を調べることで普段何気なく使っている言葉が小豆島の言葉だと知れて楽しかったです。新しい発見もできました。   |

生徒たちへ

## MESSAGE

### 山本校長先生

今年は感染症対策の下、活動の内容や範囲が制限されたなかでの、企画、取材など例年にないご苦労があったかと思えます。そんな中でも私たちの地域の素敵なおところに光を当て、皆さんなりの感性で伝える工夫を凝らしていただきました。島に生まれて半世紀以上の私ですが、たくさんの方の発見があり、「こんど足を運んでみよう。」と考えています。きっと、この冊子を手にした、学校の内外、島の内外の人も「知りたい、行ってみたい」という気持ちが湧いてくるに違いありません。そして私たちの地域には、まだまだ光を当てると輝き出す「たからもの」がたくさんあると感じています。これからの活動にも期待しています!

### 野崎先生

今年は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、活動が制限された中でも本当によく頑張ってくれたと思います。プロジェクトに参加して感じたことをこれからも大切にしてください。私たちの地域にはまだ知られていない魅力と可能性が秘めています。これを手に取って読んでくれたみなさんにもっと島のことを知り、島のことを考えるきっかけにせらうとともに、これからも地元である島とのつながりを持ち続けることを願っています。

